

# 長谷川朝子のアイデアノート



## 習い事を始める

花便りが各地から届くこの季節、習い事を始めようと思つていらっしゃる方も多いのではありますか。小さいお子さんをお持ちのお母さまから「子どもにピアノやバイオリンをさせたいと思つていますが、幾つぐらいから通わせることができまますか?」というお問い合わせを数多くいただきます。今月はそんなお母さま方からの質問に答えていきたいと思います。早速参りましょう!

個人レッスンを始めるのは何歳から?

自分の意志でコントロールを



いいえ、どうではありません。楽器演奏だけではなく子どもの体、知性や神経の発達に合わせて音楽体験を増やし、身の回りのものや楽器を遊び道具として関わる活動をします。子どもの集中力など身についてきたら楽器演奏の習い事にシフトします。それまでの準備をします。

ゲームの感覚で子供の自発性、創造性をタイミングりにキヤッちしながらこれら(写真A)

お子さんが小さいうちは一緒にキャッチボールをする活動の中で子供にリズム感、集中力や共同作業することを学ばせることができます。

レッスンがスタートしたら



一緒にキャッチボールをする活動の中で子供にリズム感、集中力や共同作業することを学ばせることができます

することが出来る筋肉・随意筋の調整期に入る4歳前後くらいがおおよその目安と言えるでしょう。ですが以下のことも踏まえてスタートの時期を考えてみてください。

- 楽器を弾くことに興味を示しているか
- 10分ぐらい集中していられるか
- 身近にいる人の言うことを聞くことが出来るか

習うまでの期間は  
何もしなくていいの?

いいえ、どうではありません。楽器演奏だけではなく子どもの体、知性や神経の発達に合わせて音楽体験を増やし、身の回りのものや楽器を遊び道具として関わる活動をします。子どもの集中力など身についてきたら楽器演奏の習い事にシフトします。それまでの準備をします。

幼少から始めると絶対音感が育ちレッスンをすることで知能の向上につながります。週に一度のレッスンに向けて自宅で練習をすることで、目標に向かって努力する姿勢が身につきます。また先生の家に通うことで玄関での靴のそろえ方、ごあいさつの仕方など小さいうちからマナーを学びます。

音楽を習うと  
どんなことに役立つの?

音楽を使うことで集中力を高めることができます。シルバーベル以外はお家でも簡単に作れる物なのでぜひ作って遊んでみてください。



↑左から、集中力を高めるための棒落としあそび、指先を鍛えるビーズ玉、美しい音の出るシルバーベル、音符を覚えるカードあそび

## 長谷川朝子さん

福島市在住。声楽家・ハープ奏者。長谷川音楽事務所、長谷川音楽スクール代表。大学講師やラジオのパーソナリティー、福島民友新聞連載「うたのふるさとを訪ねて」を執筆。また、全国の学校を回る演奏活動、番組審議委員、コンクール審査員を務めるなど多方面で活躍中。2013年に第23回みんゆう県民大賞芸術文化賞を受賞。HPアドレス <http://hasegawamusic.com/>

